

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
管理会計論 I	~218	3・4年生・前期	2単位	選択	春日 克則	
履修の前提条件	「会計学入門」や「簿記」を履修済か同程度の知識を有することが望ましいが、何よりも、企業の経営・管理に興味を持つことが必要である。					
授業概要 (Course Outline)						
管理会計論では、企業内部の経営管理者などに対して、企業の状況を報告し、経営管理に役立つ情報を提供するための手法を学習する。このうち、「管理会計論 I」では、日常的な業務に関する計画の設定と、その計画と実績との比較から業績を評価するために必要な技法を学ぶ。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
経営管理のために、会計情報をどのように活用すべきかについて理解する。具体的には、日常業務について利益との関係から業績を評価する技法である、CVP分析、予算管理・統制(事業部を含む)を中心に管理会計のプロセスを理解し、計算ができるようになる。						
事前学習の内容	テキストの関連するページを学習し、分からない点が自覚できるようにしておく。					
事後学習の内容	毎回、練習問題を提出・返却するので、指摘された課題に取り組む必要がある。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業では、抽象的な理論を具体的な課題に応用できるよう、毎回、事例や練習問題に取り組む。その成果を、授業の最後に提出してもらい、翌週添削して返却する。課題を提出する際には、授業中に疑問に思ったことや、わからなかったことを記入する。また、返却された課題には、私のコメントが書いてあるのでお互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いたい。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
木曜日の5時限目に、非常勤講師室で対応する。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
外部試験: 日本商工会議所簿記検定1級「原価計算」の基礎となる授業である。 学習の確認: ポートフォリオ(科目別履修確認チェック表)に必要事項を記入して、指定日時に、春日までメールで提出すること。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	学園祭「紫苑祭」で売る「お好み焼き」の値段はいくらにしたらよいかーCVP分析①ー		
第2回	固定分析と限界利益ーCVP分析②ー		
第3回	餃子屋と高級フレンチ、どちらが儲かるかーCVP分析③ー		
第4回	粉飾の見破り方①ー経営効率を示す指標ー		
第5回	粉飾の見破り方②ー安全性の指標ー		
第6回	財務分析による総合評価ー事例研究ー		
第7回	中間テスト(これまで学習した項目の理解度テスト)		
第8回	管理会計としての原価計算ー目的に応じて原価・費用の範囲は変わるー		
第9回	原価計算次第で利益が変わるーコスト管理ー		
第10回	企業の事業計画を金額で表すー予算管理ー		
第11回	予算によって経営活動をコントロールする(予算統制)①ー損益計算書予算差異分析ー		
第12回	予算によって経営活動をコントロールする(予算統制)②ー貸借対照表予算差異分析ー		
第13回	事業部(製品や地域別の組織)の業績管理		
第14回	事業部制による業績評価方法の具体例		
第15回	管理会計論 I のまとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
基本管理会計	建部宏明・山浦裕幸 長屋信義	同文館出版	978-4-495-1981-6
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
・管理会計論[第六版]	櫻井通晴	同文館出版	978-4-495-16146-0
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験40%、中間テスト20%、毎回の課題提出40%として評価する。講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされるが、この課題への取り組みは、評価のウエイト(40%)に留まらず、テスト問題を解くための大きな手助けとなる。			